



創立50周年記念式典



社会福祉法人

成相山

青嵐莊

SOCIAL WELFARE CORPORATION
NARIAISAN SEIRANSO
AMANOHASHIDATE MIYAZU

TM

創立五十周年記念式典・記念講演・祝賀会プログラム

社会福祉法人 成相山青嵐莊

社会福祉法人 成相山青嵐莊 創立50周年記念式典

平成28年11月1日(火) 於: ホテル北野屋

[式次第]

- 開式
- 理事長挨拶
- 知事祝辞
- 市長祝辞
- 来賓紹介
- 感謝状記念品贈呈
- 祝電披露
- 式典終了

小憩

記念講演開会

ニュースキャスター 辛坊治郎氏

【演題】「明日を読む」

講演終了

謝辞

記念講演終了

小憩

祝賀会開始

乾杯

祝宴

アトラクション

閉会挨拶



総合老人福祉施設 青嵐莊(日置事業所)



養護老人ホーム 成相山青嵐莊(国分事業所)



グループホームせいらん(溝尻事業所)



宮津北部地域包括支援センター
住居介護支援事業所 青嵐莊
(江尻事業所)

人権の尊重を基本に自立(律)心を持ち
生きる『喜び』、生きる『楽しさ』、生きる『尊さ』が実感できるサービスの提供に努め、
常に『和』の精神を念頭に、利用者の安心・安全な生活を目指す。

創立50周年を迎えて

社会福祉法人 成相山青嵐荘
理事長 石坪 弘眞

社会福祉法人成相山青嵐荘はこの度創立50周年を迎える事ができました。これも偏に地域をはじめ関係各機関の皆様、ご利用者様やそのご家族様、法人運営にご尽力賜りました歴代の役員の皆様、いつも無理をお願いしております取引業者様、そしてご利用者の皆様のために一生懸命尽くして下さった職員の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。また、そのご縁を下さいました成相寺御本尊聖観音様への仏恩報謝の念にたえません。

振り返りますと社会福祉法人成相山青嵐荘は、今から50年前の11月1日成相寺境内に用地を確保し、養護老人ホームを開設致しました。その経緯は法人創設に遡ること数年前になります。当時日本は、大東亜戦争の大きな痛手から国民総出でやっと立ち直り、著しい高度経済成長を迎えるにつれて閑散としていた成相寺への参拝者も交通網の整備や車社会の到来もあり、年々賑わいを見せるようになってまいりました。特に戦中戦後の厳しい経験をされた方々にとって、観光や巡礼をする時間というものは、やっと訪れた、そして懸命につかみ取った安らぎであったと思います。

成相寺住職であった石坪哲眞は、参拝者のその苦労が滲み出た後ろ姿を見送りつつ思いました。戦中戦後、国のために家族のために身を削って働き、やっと訪れた安寧のこの時。しかし今後、この方々全てが安心した老後が送れるのだろうか。観音様に仕える身として観音様の慈悲をこの社会において確実に実現させ、一人でも多くの方がゆっくりと安心して過ごしてもらえる仕事をしなくてはならないのではないかと。そして極楽のようなゆっくりと安心して過ごせる場所が必要になってくる。そのように確信した哲眞は熟慮の後、昭和40年に10人の賛同者と共に養護老人ホーム開設に向けた建設委員会を結成。同7月に社会福祉法人の設立許可が下り初代理事長に就任しました。建設に至っては老人福祉法が38年に施行されたばかりの時代でありましたので、社会では老人ホームへの認知度とその必要性への関心度は低く、まして現在のような補助金制度もない中で、資金調達では相当苦労したようあります。あらゆる方面やあらゆる機関に理事総出で出向き、老人福祉の将来での重要性、老人施設の今後の必要性を説き、企業、機関、個人から寄付を頂戴し、昭和41年11月1日、養護老人ホーム成相山青嵐荘が多くの方のお力をもつて開設されたのです。

そのように多くの困難を乗り越え創設された青嵐荘には、脈々と受け継がれてきた「和」の心があります。それは「和を以て貴しとなす」「和して同せず」の「和」となります。何事にあっても互いを尊重し調和していく事が大事である。そして協調は大切であるが、個々の個性が發揮できる環境であり続けることが必要である。性別、年齢、能力、そして利用者、職員、経営者などお互いの違いを認め合った上で何事にも取り組んで行くことを重要としてまいりました。この「和」の心は今後も変わることなく、次の時代へと確実に伝承して行かなければならぬことなのです。この心があつたからこそ、ここまでサービスの充実が進み地域と共に歩んで来られたと思うのです。

近年は国、府、市の福祉計画の充実に伴い多くの事業が計画された背景により、現在は創立当時からでは想像もつかないくらい事業の充実が進んで来ました。しかしながら様々な社会福祉法人や民間企業の地域福祉事業への参入、国や地方自治体の財政の悪化に伴う補助金の見直しや介護報酬の切り下げなどを始め、社会福祉法人制度の大改革も進む中、法人経営に関わる様々な問題も山積しています。しかし、私達は第1にご利用者の皆様にとって利用したい施設であり続けること、第2に職員の働く場であり生活を支える場であることへの責務をはたすべく、今まで以上に経営力の向上を図って行く必要があります。それと共に職員の資質向上を図る中で、少子高齢化への対応や、今後は主なご利用者になるであろう団塊の世代からの要望に対応するなど、これまでになかったケースにも柔軟かつ能動的にサービスを計画し、その提供に努めて行かなければなりません。

終わりになりましたが、私ども社会福祉法人成相山青嵐荘はこの50周年を新たな出発点と位置づけ、利用者の皆様やそのご家族様にとって慈しみの心溢れる環境の中で、安らぎある時を過ごして頂ける施設であること、また地域の皆様や関係各機関、取引業者との絆をより深きものとし社会に貢献すること、法人と職員は共に成長し続けることを念頭に、今後10年、20年そして次の50年へと歩んでまいりますので、何卒ご指導賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月1日

祝　辞



京都府知事
山田 啓二

社会福祉法人成相山青嵐荘が、法人設立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。貴法人におかれましては、昭和41年に養護老人ホームを開設されて以来、50年の長きにわたり、地域の高齢者の方々が安心して生活が送れるよう、特別養護老人ホームやケアハウス、デイサービスセンターなどの様々な事業の運営を通じて、丹後地域の高齢者福祉の推進に、大きな役割を果たされてきたところであります。

これもひとえに、石坪理事長を先頭に、歴代の理事長、役職員の皆様をはじめ関係者の皆様の永年にわたる御尽力の賜と、深く敬意を表する次第であります。

高齢者を取り巻く環境は、人口減少や高齢化の進行などにより大きく変化てきており、福祉サービスに対するニーズもますます増加し、多様化しておりますが、法人設立50周年を契機として、地域の皆様や関係機関など多くの方々と一緒に連携を深めていただき、地域の高齢者福祉の推進に引き続き御尽力いただきますよう、お願ひいたします。

京都府といたしましても、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を実現するため、引き続き様々な取り組みを市町村と一体となって進めてまいりますので、今後とも御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、社会福祉法人成相山青嵐荘が今後ますます御発展されますとともに、役員並びに職員の皆様の御健勝と御活躍を心から御祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



宮津市長
井上 正嗣

社会福祉法人成相山青嵐荘の法人設立50周年を心からお祝い申し上げます。貴法人におかれましては、昭和40年に成相寺の福祉事業として法人を設立され、昭和41年に養護老人ホーム「成相山青嵐荘」を、平成11年に複合老人福祉施設「青嵐荘」を、平成24年には認知症対応型共同生活介護施設「グループホームせいらん」を開設されたほか、平成25年には「宮津北部地域包括支援センター」の運営を受託いただき、各事業の運営を通じて、宮津市における高齢者福祉の向上、充実に大きくご貢献いただいていることに心から感謝申し上げます。

また、青嵐荘では地域住民を対象とした「だんないでえカフェ」など地域の福祉ニーズに対応した取組みを展開されており、宮津市の福祉拠点として着実に基盤を築いてこられました。これもひとえに、石坪理事長をはじめとする関係者の皆様の並々ならぬ熱意と献身的なご尽力によるものであり、ここに重ねて深く敬意を表する次第であります。

現在、宮津市の高齢化率は39%を超え、国・府の平均を大きく上回っております。

このような中、宮津市では、平成27年3月に第7次宮津市高齢者保健福祉計画・第6期宮津市介護保険事業計画を策定し、適切な保健・福祉・介護・医療サービスの提供と、健康づくりと介護予防の推進、社会参加と地域での支え合いの促進などを基本的視点として、地域包括ケアシステムの構築や認知症対策の推進などに取り組んでいるところでございます。こうした状況の中、貴法人の地域に果たされる役割は大きく、地域の高齢者福祉の向上、充実という市民の大きな期待に応えていただけるものと確信しております。

結びに、社会福祉法人成相山青嵐荘のますますのご発展と、役員並びに職員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



辛坊 治郎

Jiro Shinbo

[ニュースキャスター]

1956年 鳥取県米子市生まれ 大阪府岸和田市出身
1980年 早稲田大学法学部卒業
同年 読売テレビ放送株式会社入社
アナウンサー、キャスター、
ドキュメンタリープロデューサーなどを担当
1990年 芦屋大学非常勤講師
1993年 報道局解説委員
1996年 USIA（アメリカ国務省文化交流庁）の招きで
米国メディア研究
1997年～1998年 ニューヨークベース大学客員研究員
2000年 報道局情報番組部長
2004年 芦屋大学客員教授
2009年 読売テレビ解説委員長
2010年 読売テレビ放送株式会社退社
同年 (株)大阪総合研究所代表就任

現在

(株)大阪総研代表、芦屋大学客員教授を務める傍ら
読売テレビの番組を中心にキャスター、ニュース解説
などを担当

著書

「辛坊訓」光文社
「この国で起きている本当の事」朝日新聞出版
「日本の恐ろしい真実」角川SSC
「日本経済の真実」「日本経済の不都合な真実」幻冬舎
「中国 この腹立たしい隣人」実業之日本社
「TVメディアの興亡」(集英社)など多数

講演タイトル

「時代を読み解く～正しい判断は正しい情報から～」
「どうなる日本!?～政治経済の明日を読み解く～」等



齊藤文護 [写真家]

Bungo Saito

神奈川県生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。表現活動『ココロミプロジェクト』主宰。形も定かではない、目には見えない大いなる力に気付き、心が動いた瞬間を写真に定着させ、作品づくりを重ねる。「カンヌ国際広告賞」「ニューヨークADC賞」他受賞多数。東京・京都を拠点に活動している。



古賀久士 [音楽家]

Hisashi Koga

山口県生まれ。MUSHROOMのメンバーとして、R&Cレコードより『ラジオから・・・』でメジャーデビュー。現在はソロとなり、ピアノ弾き語りスタイルで、都内を拠点に全国各地でLIVE活動を行う。3.5オクターブの音域を活かし、バス、テノールから、カウンターテナーまでを自在に操る。

社会福祉法人成相山青嵐荘 沿革

昭和 40 年 05 月	養護老人ホーム建設促進委員会を結成
昭和 40 年 08 月 02 日	養護老人ホーム設置のため、社会福祉法人設立者会議をおこない、名称を社会福祉法人成相山青嵐荘とし、代表者を石坪哲眞とする。
昭和 40 年 12 月 07 日	社会福祉法人成相山青嵐荘設立許可
昭和 40 年 12 月 27 日	社会福祉法人成相山青嵐荘設立登記
昭和 41 年 11 月 01 日	第一種社会福祉事業 養護老人ホーム成相山青嵐荘開設 定員 50 名
昭和 43 年 06 月 06 日	秩父宮妃殿下ご視察
昭和 53 年 10 月 01 日	養護老人ホーム成相山青嵐荘 定員 10 名増床 定員 60 名
昭和 54 年 08 月 01 日	養護老人ホーム成相山青嵐荘 2 階会議室 122 m ² を増築する。
平成 06 年 05 月 07 日	石坪 昭眞 理事長就任（第 2 代目）
平成 06 年 06 月 01 日	第二種社会福祉事業 老人短期入所事業 定員 3 名
平成 08 年 10 月 27 日	及び宮津市委託事業 宮津市デイサービスセンターせんごく B 型を開設。創設者 石坪 哲眞 理事 逝去
平成 10 年 06 月 01 日	宮津市在宅介護支援センター（1 人型）受託
平成 11 年 11 月 01 日	第一種社会福祉事業 特別養護老人ホーム青嵐荘開設 定員 50 名 ケアハウス青嵐荘開設 定員 30 名 第二種社会福祉事業 短期入所老人ホーム青嵐荘開設 定員 20 名 デイサービスセンター青嵐荘 A 型開設受託 定員 15 名 青嵐荘在宅介護支援センター受託
平成 12 年 04 月 01 日	老人居宅介護等事業 介護保険創設のため介護保険事業の登録し事業許可を受ける
平成 14 年 12 月 16 日	特別養護老人ホーム青嵐荘開設 定員 50 名
平成 14 年 12 月 18 日・19 日	短期入所老人ホーム青嵐荘開設 定員 20 名 デイサービスセンター青嵐荘開設 定員 25 名 ヘルパーステーション青嵐荘開設
平成 16 年 04 月 30 日	居宅介護支援事業所青嵐荘開設 訪問入浴センター青嵐荘開設 青嵐荘在宅介護支援センター受託
平成 18 年 10 月 01 日	養護老人ホーム移転改築の竣工式 利用者の引越し完了（新生活始まる） 第二種社会福祉事業 老人短期入所事業 定員 3 名を移転に伴い廃止 訪問入浴事業を廃止
平成 18 年 10 月 31 日	利用者 3 名は宮津市社会福祉協議会に引き受けさせていただく（自動車及び備品等も譲渡する）。
平成 22 年 05 月 01 日	デイサービスセンター青嵐荘 定員を 5 名増 定員 30 名
平成 22 年 12 月 10 日	養護老人ホーム成相山青嵐荘は養護老人ホームの制度移行に伴い、特定入居者生活介護 成相山青嵐荘事業開始
平成 22 年 12 月 23 日	訪問介護事業所 成相山青嵐荘事業開始
平成 24 年 03 月 01 日	デイサービスセンターせんごくの事業廃止
平成 25 年 10 月 01 日	デイサービスセンター青嵐荘 定員を 10 名増 定員 40 名
平成 26 年 30 月 31 日	石坪 弘眞 理事長就任（第 3 代目）
平成 26 年 09 月 12 日	石坪 昭眞（2 代目理事長）逝去
平成 26 年 11 月 13 日	グループホーム せいらん開設 定員 18 名 宮津北部地域包括支援センターの受託 職員 2 人制 宮津北部地域包括支援センターを江尻事業所（仮設事務所）に移転 江尻事業所新事務所完成引渡 宮津北部地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所青嵐荘を江尻事業所新事務所に移転



社会福祉法人 成相山青嵐荘

〒626-0225 京都府宮津市字日置780番地

TEL.0772-27-1733 FAX.0772-27-2988

www.seiransou.jp